

平成25年度以降の学校ICT環境の動向

平成25年4月8日に自由民主党「教育再生実行本部」の提言が発表されました(表面)。平成25年6月14日には、IT総合戦略本部策定「世界最先端IT国家創造宣言」が閣議決定され、「教育環境自体のIT化」の工程表も明示されました(裏面)。これらの国家戦略により、今後、学校ICTの未来はどのように変わっていくのでしょうか。

平成25年4月8日 提言

自由民主党 教育再生実行本部 <一部抜粋>

「成長戦略に資するグローバル人材育成部会提言」より



3. 国家戦略としてのICT教育

1. 2010年代中に1人1台のタブレットPC(情報端末)を整備
2. 全教師が、児童生徒の発達段階に応じたICT活用指導力を身に付ける
3. 世界最高水準のICT教育コンテンツ・システムの創造、情報リテラシーの育成、情報モラル教育の実現

<提言を実現するための施策>

- ・ 2015年を目途に、小・中・高・特別支援学校を通じて、1人1台のタブレットPC(情報端末)、電子黒板、無線LAN等が整備された拠点地域を **全都道府県に合計100程度指定**し、先導的な教育システムを開発
- ・ これらを活用し、トップを伸ばすとともに徹底的な学力の底上げを実現
- ・ 併せて、児童生徒の情報リテラシーを育成するとともに、ネット依存対策など、発達段階に応じたICT活用に配慮した情報モラル教育を徹底
- ・ **新しいICT活用指導モデルを構築し、全ての教師に普及**
- ・ 大学の教師養成カリキュラム、教師採用試験及び免許更新講習においてICT活用指導力を重視
- ・ 地域社会や産業界と連携協力し、各学校に**教科指導におけるICT活用をサポートするICT支援員を配置**
- ・ 産業界等と連携協力し、**利用しやすいデジタル教科書・教材の開発**や、多様な情報端末で利用するための標準化など、デジタルコンテンツの利用拡大のための技術を開発
- ・ 産業界、地方自治体などと連携し、教育システムの普及・展開に向けて、協議会(コンソーシアム)を形成

「世界最先端IT国家創造宣言 工程表」より <一部抜粋>

実施スケジュール <4.利活用の裾野拡大を推進するための基盤の強化>

短期 2013年度～2015年度 | 中期 2016年度～2018年度 | 長期 2019年度～2021年度

IT利活用に関する実証研究の実施

フューチャー
スクール
推進事業
学びの
イノベーション
事業

1人1台の情報端末による
教育の全国的な普及・展開と
教育ITシステムの標準化
総務省 文部科学省

教育環境のIT化
(最適な教育ITシステムの確立)

学校のIT環境の整備
(短期目標の設定とその達成)
総務省 文部科学省

学校のIT環境の整備
(計画の見直し及び新たな目標の設定と
その達成)
総務省 文部科学省

「デジタル教科書・
教材」の位置づけ・
制度に関する課題
整理 文部科学省

「デジタル教科書・
教材」の導入に
向けた検討
文部科学省

クラウドを活用した学校・家庭を
シームレスでつなげる教育・
学習環境の構築・確立 総務省

「デジタル教科書・教材」
の導入・普及促進に向けた
環境整備
総務省 文部科学省

子どもや教員が利用しやすい
デジタル教科書・教材の
開発・標準化
総務省 文部科学省

学校教育での
IT利活用による
授業革新の実現

IT利活用による教員の
支援及び
指導力の
向上

教員のIT指導能力
の整理、評価方法の
検討 文部科学省

全ての教員がITを
活用できる指導方法の
構築 文部科学省

指導案・教材データ
ベース構築に向けた検討
総務省 文部科学省

指導案・教材データ
ベース設計・開発・運用開始
総務省 文部科学省

「教育の情報化ビジョン」の実現へ

学校教育でのIT活用による授業改革の実現イメージ

